

暴夜の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	暴夜の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	暴夜を読んだことのある10代～50代の男女31名
調査期間	2025年4月17日～2025年4月22日 2025年5月16日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/bouya/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 暴夜を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

10代男性	0人
10代女性	0人
20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	0人
30代女性	1人
40代男性	13人
40代女性	15人
50代男性	2人
50代女性	0人

Q2: 暴夜の感想を教えてください。

暴夜:1話～5話	5話ラストの展開に衝撃を受けました。 李穂花は絶体絶命の危機に陥っていました。 すでに逃げ場はないですし、逃げたとしても姉達に迷惑がかかるので逃げることも出来ません。 この仕事が上手く行けば姉を解放できそうだっただけに、すごく残念に感じました。 幸い雇い主となる徐智鶴が助けてくれましたけど、その方法にびっくり。 いくら穂花を助けるためとはいえ、ここまでするのかと驚きました。
暴夜:1話～5話	男女が交わりあい、それを眺める一人のたくましい男性。でも実はその男の目は見えていない。 衝撃的な始まりでした。盲目の主人の非情なまでの態度、それに対抗しようとするヒロインの潔さ。これまでにないヒーローヒロイン像です。天真爛漫だったころの笑顔が一転してかたくななものになっており、それまでにどのようなつらい試練を乗り越えなければならなかったのだろうと胸が痛みます。
暴夜:1話～5話	歴史に詳しくない人でも何となく四で楽しめる作品です。キャラクターの個性が強く、特に芙蓉館の楼主の堂に入った悪役ぶりは見事というよりも他ありません。5話まで主人公の穂花の努力家の部分や、彼女の身に着けたスキルを理解して雇用した謎めいた貴公子との出会いがメインです。穂花の姉の妓生としての悲惨な境遇などを踏まえて、彼女たちがどうなっていくのか気になるところです。また、穂花も妓生とさせられてしまうのかなど、目が離せません。
暴夜:6話～10話	作中、智鶴が穂花に恥ずかしい姿を見られてしまう場面があるのですが、そこでの展開が本当に面白いですね。この時の穂花の反応がとにかく初々しくて見ていて凄く好感が湧きました。男性経験もまるでなかった穂花ですから、智鶴を見た瞬間、多分訳がわからなかったのでしょうね。でもその反応がとにかく魅力的でより穂花のことが好きになってしまいます。
暴夜:6話～10話	楼主様から妓籍に入れられそうになったウンファを待っていたのはジハクで、自分が来る前にとんでもない何かが起こったことを感じながらも、ようやくホッとできるひとときを過ごせるかと思ったら、ジハクの目は本当に見えないのかと疑いたくなる場面に遭遇し、ドキドキさせられました。一方で、自身に想いを寄せる若様のことを勝手に姉のことが好きだと勘違いしてしまうところに、新たな火種の予感がしました。
暴夜:6話～10話	代わりのものを用意すると言っても納得せず周りのやつを理不尽に切り殺し脅しをかける。そんなことされたら従わないわけにはいきません。しかも世間的地位も高いようだし。執着愛に理不尽に振り回される穂花が可愛そう。でも周りもタダでは転ばない。姉を助けようとするヒロインと見受け金を吹っかけて対抗する楼主。緊迫した戦いです。
暴夜:11話～15話	11話の本人のセリフから、まるで目が見えているかのように振る舞えるのは後天的に失明したからなのかと思っていたら、15話でやはり本当は見えていることが確定して、まんまと騙されたのが悔しかったです。しかも、ヨンファの正体に気づいているっぽいのに盲目でないことを知られても焦っていないあたり、ヨンファのこともジハクの都合や機嫌次第であっさり始末してしまいそうだと思えて、怖いと感じました。
暴夜:11話～15話	智鶴のこと、知れば知るほどヤバイことが分かります。こんな奴、関わらないのが一番ですね。それにしても、そんなヤバイ相手を襲う相手がいるとは、更には誰かに失明もさせられて。上には上がいるというか、金持ちの世界も生きるか死ぬかで大変です。そんな日常の癒しが官能小説を若い女性に読ませることなら、それもまたヤバイ
暴夜:11話～15話	ジハクがウンファによく似ていると評する、かつて慕っていたという「あれ」の正体が非常に気になりました。ジハクが「あれ」のことを思い出して話題に出したのはウンファに膝枕をしてもらっている時とウンファの目の前で入浴している時なので、かなり近い関係の女性なのではないかと推測できます。しかし、怒りに駆られて首を引きちぎったというセリフから考えると、人間ではなく愛玩動物の可能性が思い浮かびますし、かと思えば口数が多かったと察せられるセリフもあって、謎は深まるばかりです。
暴夜:16話～20話	これで本当に目が見えていないとしたら、智鶴の身体能力が高すぎてヤバイ。見えてるのにわざと演技して好きな子の反応を楽しむ。となるとまたヤバイ性格の持ち主ということになってしまいますね。そんなヤバイ奴とは関わらないのが身のため。自慰行為を行い自分で自分をおさめるしかないのです。もしも行動を起こすとあの官僚みたくに命をも失うことに。それにしても智鶴はそ

	ういった意味でもヤバイ。暴走しすぎです。敵に回したくありません。
暴夜:16話～20話	周り中が敵という中で智鶴にとって穂花は癒しでしょう。ですがそれで彼女に対して優しくするの かというそんなことはない。やはり智鶴は智鶴です。一方で詩勲も穂花に対する想いを募らせて いきますが、それをごまかすために行ったのは自慰行為とは。男たちの嫉妬心はどういった行 動につながるか分からず恐ろしいものがありますね。
暴夜:16話～20話	智鶴に詩勲と二人のイケメンに愛されて、でも全然穂花がうらやましいとは思えないのです。だっ てどちらもヤバイ奴らですから。自分の所有物だと主張してくるだけでなく手を出そうとするやつを 問答無用で切る智鶴も怖いけれども、自慰行為で紛らわせようとする詩勲もどうかと思う。普通に 愛することできないのでしょうか。ゆがんでいる。
暴夜:21話～25話	妹がダメだから姉を。詩勲の行動にはドン引きです。そして穂花を愛する智鶴。好きなら好きで もっと分かりやすく愛情を示しましょう。あの暴君が彼にしていれば穂花のことを考えて歩み寄って いる様子はちょっぴり可愛らしい。でも慣れないことをするから全然気づいてもらえないのが哀れと 言うか。とはいえずいに二人は一緒にいることができました。
暴夜:21話～25話	不器用に愛情を示す智鶴。不器用すぎてまったくわかってもらえないところが面白い。とはいえよ うやくベッドシーンとなりました。智鶴にとってはうれしい展開ながら、決して愛していない相手に 抱かれてそれでも感じてしまっている。そんな穂花が不憫です。不憫と言えば詩勲も。とはいえ妹 がダメだから姉をとというのは暴走しすぎでしょう。
暴夜:21話～25話	ようやく穂花と結ばれることができて、智鶴にとっては万々歳の展開ですがただ力でねじふせた だけ。彼の思いやりはまったく通じてませんただ身体が繋がったにすぎないみたいです。一方 で穂花の姉と詩勲もまたつながることに。ただこちらは更に複雑。姉と妹は別の人間です。代わり になんて求めてもどちらも不幸になるだけでは。
暴夜:26話～30話	この作品は本当にキャラクターたちの心理を丁寧に描き出してくれるので面白いですね。穂花が 智鶴と関係を深めている場面は凄く独特の空気感を抱けました。穂花はやはりすごく優しい性格 で姉のためだったら多少辛いことは我慢できるという心持ちなので、その点も魅力的ですね。智 鶴の気持ちとは裏腹に結構なことを割り切って行動している彼女の姿がとても印象的でした。
暴夜:26話～30話	智鶴は明らかに穂花に対して思いを募らせていつているようですが、身体はつながっても心はまだ。 無理やり強要されて穂花が智鶴に対して愛情を持つのはかなり難しいのでは。彼女が求める のは姉の解放。ですが姦主もしたたかなもので、そううまくいきませんね。更には姉と詩勲が恋仲 だなんてことになって、しっちゃかめっちゃかです。
暴夜:26話～30話	ウンファとジハクがとうとう一線を越えて深い仲となり、ウンファの気持ちが自分に向いていること を感じたおかげか彼女に対するジハクの態度がかなり柔らかくなって、遠からず相思相愛になり そうだなと思いました。しかしその一方で、ジハクの姉がウンファとヨンファの父親に冤罪をかぶせ たことが明らかになったり、シフンの様子が不穏だったり2人の仲を引き裂く出来事が起こりそう な気配もあり、ウンファやヨンファが辛い目に遭わないか心配です。
暴夜:31話～35話	子供の頃から智鶴は皇太子として、いろいろな苦労を強いられてきたということが作品内で語ら れていて、とても興味が湧きました。やはり位が高い人には、それなりの負荷がかかっているとい うことを智鶴を見ていると強く実感させられますね。そんな智鶴がその厳かな立場を捨てて平和 に暮らしたいと思い始めた姿は必見です。その心変わりの背景にはやはり穂花の存在があるの でしょうか。気になります。
暴夜:31話～35話	たまたま穂花が街を歩いていると虎林が虎と相対している場面に遭遇してしまうので、その緊張 感にあふれたシーンは必見ですね。穂花に危害が及んでしまうのではないかとハラハラ感が募り ました。でも、智鶴がその場に颯爽と来てくれて穂花を守ってくれる展開はすごく格好良かったで すね。なんだか穂花を救いにやってきたヒーローっぽかったです。

暴夜:31話～35話	トラに襲われたことで怯えている穂花がとても可愛かったですね。智鶴がそんな彼女を落ち着かせてあげようと優しくキスするシーンは必見です。その時の横顔がとにかく綺麗で目を奪われてしまうこと間違いなしです。智鶴の言動には本当に1ミリたりとも無駄な動きがないので、その点が本当に魅力に溢れています。頼り甲斐がある感じで穂花が彼に惹かれてしまうのも理解できます。
暴夜:36話～40話	穂花に対しての特別な思いが、どんどん膨れ上がっているのを智鶴を見ていると深く感じられますね。彼女が危険な目に遭ったことで、より智鶴の中の危機管理能力に厚みが増したように思います。作中、彼女を絶対に失いたくないという気持ちが智鶴の表情に溢れていて、そこも面白いですね。初めに会った時の顔とは全くの別人のようになっていて目が離せません。
暴夜:36話～40話	詩勲の父親である宗瑞の言動が本当に厄介ですね。穂花に対して智鶴暗殺に加担させるような指示を出していくので凄く見えてドキドキしました。穂花が本当に智鶴の食事に毒薬をもってしまうのかとハラハラしましたが、その緊張感が物語を更に面白くしています。一方、智鶴の穂花に対して気持ちがより一層高まりを見せていく姿も必見ですね。彼の感情の部分が作画から伝わってきます。
暴夜:36話～40話	ヒインからジハクの正体や父親の処刑と関係があることを知らされたり、チュンヒに裏切られたり、シフンの父親からジハクに毒を盛るよう脅されたりと、胸が痛くなるような展開続きでウンファがかわいそうでした。ただ、ウンファの軽率さも原因の1つだと思うので、これを機に慎重さを身につけるべきだとも思いました。また、気分屋で短気なはずのジハクがウンファを問い詰めたりせず、葛藤している様子が印象的でした。
暴夜:41話～45話	穂花の姿を目の前にして自分の感情を抑えることができなくなった智鶴の内面の部分が非常に面白いですね。今までは、あれほどクールに振る舞っていた智鶴が「穂花の肌に触れたい」と強く思ってしまう姿が人間らしいです。やはり智鶴は愛情にかなり飢えていたのでしょうね。なので穂花の優しさがとにかく身に染みる感じで彼女を求めていることが強く伝わりました。
暴夜:41話～45話	智鶴がここまで穂花に心酔してしまうのには、多分心の根底の部分に似た要素があるからだと思いましたね。いろんな背景を照らし合わせていくと二人とも優しい人間で愛情を欲しているという側面がわかるので本当に見えてドキドキできます。穂花の彼に対しての振る舞い方が、どんどん魅力的になっていくのでその辺のプロセスを見ていくのが非常に興味深いです。
暴夜:41話～45話	今まで人のことを愛したことがなかった智鶴が初めて穂花という女性を心から愛してしまった姿が興味深いです。恋をしないわけですから自分の感情が一体どういうものなのか、いまいち理解していない智鶴の姿が可愛いです。誰かが「智鶴は今恋してる」と伝えてあげればすぐに彼もスッキリするはずなので、その担い手がどこかにいないかとちょっと考えてしまいましたね。
暴夜:46話～48話	この作品を読んでいると智鶴のことがよくわからなくなる場面に結構遭遇します。少し前の場面では穂花のことを心から愛していたのに、少ししたらまたクールな表情になっていたりするので本当の気持ちが一体どこにあるのかいまいち掴みきれません。でもそのミステリアスな感じが智鶴の魅力にもなっているので俄然彼の一挙手一投足から目が離せませんね。
暴夜:46話～48話	穂花と智鶴の会話シーンに注目してほしいです。独特のテンポで展開されていく二人の会話劇なのですが二人の信頼関係が如実に伝わってくるので凄くほっこりとした気持ちを抱けます。個人的に智鶴のことを優しい目で見つめている穂花の対応がとても魅力的ですね。彼女の慈しめない愛情が見え隠れしているので凄くいいですね。智鶴のセリフ一つ一つにも個性があって会話のやりとりにかかなりの面白みがありますね。
暴夜:46話～48話	とても緊張感があり良い意味でインパクトのあるセリフが様々にあったので、そんな会話だけでも入り込むようにして読めましたし、医師からの衝撃的な言葉もあったので、これからどうなってしまうのかどんどん続きが気になりました。また、智鶴の視力は大丈夫なのかなど自分の事のように心配になる展開もあり、全く目が話せなくなったので没頭してしまいました。
暴夜:51話～52話	徐智鶴の意外な一面を見れたのが良かったです。あの徐智鶴にヤキモチを焼くなんていう微笑ましい一面があったなんて。怖い系のイメージが強かっただけに、穂花と楽しく過ごしている場面

は印象的でした。その後の会合シーンが、そのことをさらに際立たせました。徐智鶴の怖さが目立ったシーンでもあります。それが返って穂花への愛情を感じさせました。徐智鶴が優しい顔を見せるのは穂花にだけなんだと。二人の関係が進展したことにホックリしました。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス